北海道開発局の災害対策用機械

令和7年4月

事業振興部　防災課

国土交通省
北海道開発局

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

排水ポンプ車〔30・60㎥/min級〕

国土交通省
北海道開発局

機械概要

30m³/min級

60m³/min級

洪水災害時において排水作業を行う機械です。
排水ポンプ・発動発電機・照明装置・クレーン装置等を搭載しており、
ポンプ設置から排水作業までの作業を１台で行うことができます。
梅雨や台風が多い季節に出動が多い機械です。

■車両の規格

	〔30m³級〕	〔60m3級〕
・全長：	８．９m	１０．５m
・全幅：	２．５m	２．５m
・全高：	３．１m	３．６m
・車両重量：	１０．８t	１９．６t

■特徴
６０m³/min級では２５mプールの水を約６分間で排水する能力があります。

■全道配備台数　：　38台(R7.4月現在)

活動の様子

H28.8 大雨による出動〔豊頃町〕

H28.8 大雨による出動〔音威子府村〕

照 明 車〔ポール式〕

国土交通省
北海道開発局

機械概要

1ポール式

2ポール式

照明車は、発動発電機・照明装置を搭載しており、夜間における照明作業に使用することができます。
近年では、各種災害における夜間復旧作業支援、施設夜間監視などに出動しています。

■車両の規格

	〔1ポール式〕	〔2ポール式〕
・全長：	5.9m	6.2m
・全幅：	2.2m	2.2m
・全高：	3.2m	3.2m
・車両重量：	5.9t	6.9t

・最大高さ：（共通）4.6m ～ 10.0m
・照明装置：（共通）LED 1,300W 6灯

■特徴
搭載している照明装置は約４００m先の新聞が読めるほどの明るさがあります。

■全道配備台数 ： 21台(R7.4月現在)

活動の様子

H28.8 大雨による緊急排水作業支援〔幕別町〕

H26.9 大雨による土砂撤去作業支援〔千歳市〕

散 水 車〔給水装置付〕

国土交通省
北海道開発局

機械概要

国道の散水作業に使用する散水車に「給水装置」を搭載することにより、給水活動にも利用できる構造となっているほか、各種施設の水タンクなどに水を圧送する機能も備えています。

災害時や水道設備の障害発生時に自治体からの要請を受け、給水所で給水支援活動を行っています。

■車両の規格

・全長：７．５m　　・車両総重量：１３．２t
・全幅：２．５m　　・タンク容量：６，３００ℓ
・全高：２．９m　　・タンク内面：ステンレス鋼板

■特徴

ポンプにより１０階程度の高さまで水を圧送することができます。

■全道配備台数　：　18台(R7.4月現在)

活動の様子

H30.9 胆振東部地震に伴う給水支援〔安平町〕

H26.9 大雨による断水に伴う給水支援〔江別市〕

土のう造成機

国土交通省
北海道開発局

機械概要

720･360袋型

180袋型

洪水災害時において堤防の漏水などを防ぐために使用する土のうを迅速かつ大量に造成することができる機械です。
特別な技能を必要とせず簡単な操作で土のうを連続供給することが可能で現場における土のう造成作業の負担軽減を図ります。

■車両の規格
・全長： ３．３～７．３ｍ　・機械重量： ２．４～１２．５ｔ
・全幅： ２．０～２．５ｍ　・作業能力： １８０～７２０袋/h
・全高： ２．０～２．５ｍ

■特徴
粘土質以外の土質に対応しており、スイッチ１つによる簡単な操作で迅速に土のうを作ることができます。

■全道配備台数 ： 3台(R7.4月現在)

活動の様子

H18.8 大雨による出動〔厚真町〕

H28.8 大雨による出動〔旭川市〕

多目的支援車〔履帯式〕

国土交通省
北海道開発局

機械概要

10人乗り

8人乗り

ゴム製無限軌道〔履帯〕を装着することにより一般車両では走行が困難な沼地・雪上などの不整路面の走行が可能な災害対策用機械です。
災害時には立ち入りが容易ではない箇所での現地調査や人員・災害復旧資機材の輸送などの多目的な活動ができます。

■車両の規格

	〔10人乗り〕	〔8人乗り〕
・全　　長：	5.0m	6.2m
・全　　幅：	2.3m	2.2m
・全　　高：	3.1m	3.2m
・車両重量：	5.0t	6.9t
・走行速度：	40km/h	23km/h
・最大登坂能力：	20度	30度
・最大渡河水深：	40cm	60cm

■特徴
履帯式であることから急な斜面や浸水箇所での走行ができます。

■全道配備台数　：　2台(R7.4月現在)

活動の様子

H30.9 胆振東部地震による出動〔厚真町〕

R6.6 総合水防演習時の状況〔北見市〕

分解組立型バックホウ

国土交通省
北海道開発局

機械概要

災害等により道路が通行止めとなり、被災現場に機材等が搬入できない場合に空輸での運搬が可能な分解組立式のバックホウです。
また、アタッチメントを交換することで掘削作業のほか、岩などを破砕することや掴んで移動させることができます。

■車両の規格
- 全長：１０．１m
- 全幅：　３．０m
- 全高：　３．３m
- 車両総重量：２６t
- ﾊﾞｹｯﾄ容量　：１．０㎥（山積）

■特徴
災害現場での被災防止を目的とした遠隔操作機能も搭載しています。

■全道配備台数　：　1台(R7.4月現在)

活動の様子

H30.9 胆振東部地震による河道閉塞土砂撤去〔厚真町〕

R4.3 一般国道276号岩盤崩落による岩塊除去〔千歳市〕

災害対策用ヘリコプター　ほっかい

国土交通省
北海道開発局

機械概要

映像撮影システムや写真撮影システム、画像伝送システムなどの各種情報収集機器を搭載しており、災害時には上空から被災状況の調査を行います。

通常時は訓練や防災関連業務、事業の実施に必要な情報を取得するために運航しています。

■回転翼機の規格

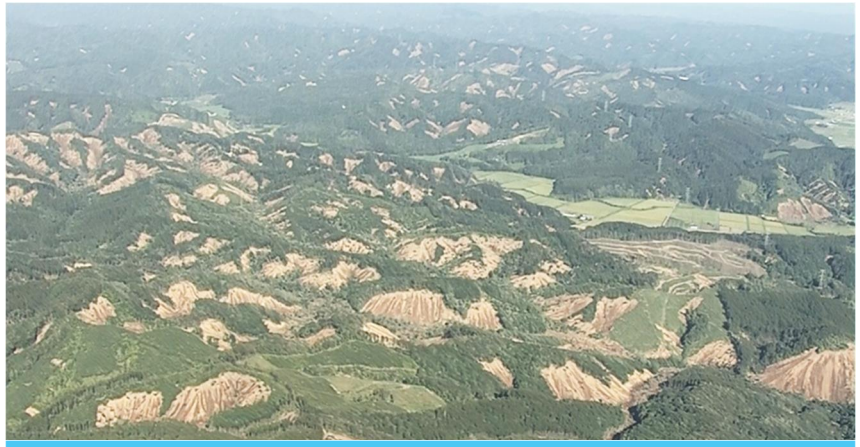
・全長：１７．１m　　・機体重量：３．８t
・全幅：　２．８m　　・巡航速度：１７０km/h
・全高：　４．６m　　・搭乗者数：８名（乗務員除く）

■特徴

北海道内であれば札幌（丘珠空港）から２時間以内で移動することができます。

■全道配備台数　：　1機(R7.4月現在)

活動の様子



H30.9 胆振東部地震 被災状況調査〔厚真町〕

H16.9 一般国道229号大森大橋 被災状況調査〔神恵内村〕

小形無人ヘリコプター

国土交通省
北海道開発局

機械概要

災害対策用ヘリコプターの飛行が制限されるような危険区域内において被災状況や範囲などを迅速に調査して応急復旧作業などに必要な情報の収集を行います。

■ヘリコプター及び車両の規格

〇ﾗｼﾞｺﾝﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ
- 全長：３．６m
- 全幅：１．６m
- 全高：１．２m
- ペイロード：３５kg
- 最高高度　：１５０m

〇移動操作車
- 全長：５．３m
- 全幅：１．８m
- 全高：３．８m

■特徴
ラジコンヘリコプターにはビデオカメラなどの情報収集機器を搭載しているので空撮や各種調査をすることができます。

■全道配備台数　：　2台(R7.4月現在)

活動の様子

H20.5 一般国道231号 落石による出動〔増毛町〕

H16.1 一般国道336号 斜面崩落による出動〔えりも町〕

衛 星 通 信 車

国土交通省
北海道開発局

機械概要

災害等で携帯電話やインターネットなどの通信手段が不通となった場合においても衛星通信装置により各種情報を災害対策本部や関係機関等へ連絡することができます。

また、カメラ装置も搭載しており、現地の状況をリアルタイムで配信することもできます。

■車両の規格

・全長：６．３ｍ　　・車両総重量：６．４ｔ
・全幅：２．２ｍ　　・乗車定員　：３名
・全高：３．１ｍ

■特徴

衛星通信装置により地上情報通信網が不通の場合でも災害現場等の情報をリアルタイムに送信することができます。

■全道配備台数　：　4台(R7.4月現在)

活動の様子

H30.9 胆振東部地震による出動〔厚真町〕

H25.4 一般国道230号 地盤変状による出動〔札幌市〕

衛 星 通 信 車〔Car-SAT〕

国土交通省
北海道開発局

機械概要

災害等で携帯電話やインターネットなどの通信手段が不通となった場合においても衛星通信装置により各種情報を災害対策本部や関係機関等へ連絡することができます。

また、移動しながらカメラ映像などを送信することが可能なので現地の状況をリアルタイムに配信することもできます。

■車両の規格

・全長：４．６ｍ　　・車両総重量：２．０ｔ
・全幅：１．９ｍ　　・乗車定員　：５名
・全高：１．７ｍ　　・カメラ装置：前方･後方･ハンドカメラ

■特徴

衛星通信装置により地上情報通信網が不通の場合でも災害現場や周辺状況等の情報をリアルタイムに送信することができます。

■全道配備台数　：　1台(R7.4月現在)

活動の様子

走行中の映像送信状況

衛星通信装置の搭載状況

対 策 本 部 車

国土交通省
北海道開発局

機械概要

災害発生時において現場近隣で現地対策本部の機能を確保するための車両です。
現地到着後、車両後部を拡幅させることにより応急対策の現場指揮や情報収集、工法検討等を実施する会議スペースとなります。

■車両の規格
- 全長：８．９m
- 全幅：２．５m
- 全高：３．７m
- 車両総重量：１０．０t
- 後部拡幅時：５．３m

■特徴
同型車両と連結することで、さらに広い会議スペースを確保することができます。

■全道配備台数 ： 3台(R7.4月現在)

活動の様子

車両後部拡幅時の会議スペース

R4.4 知床遊覧船海難事故支援による出動〔斜里町〕

待 機 支 援 車

国土交通省
北海道開発局

機械概要

9床式

4床式

災害現場で復旧活動等に従事する人たちの休憩や仮眠、簡易宿泊施設としてのスペースを確保するための車両で、復旧活動等が長期化した際の後方支援を目的としています。

■車両の規格

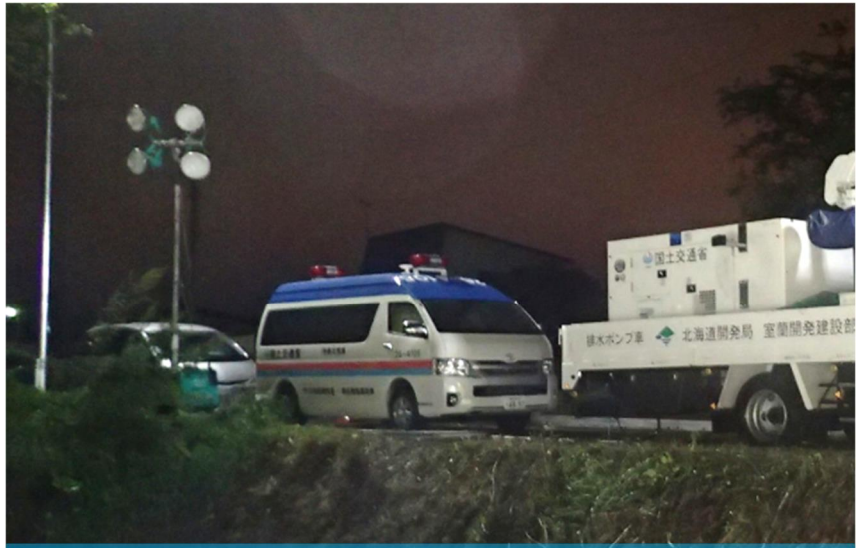
	〔9床式〕	〔4床式〕
・全長：	8.3m	5.4m
・全幅：	2.5m	1.9m
・全高：	3.4m	2.5m
・車両重量：	7.8t	3.2t

■特徴
9名(4名)分の就寝設備を装備しています。

■全道配備台数 ： 9床式 1台、4床式 4台(R7.4月現在)

活動の様子

9床式の休憩スペース

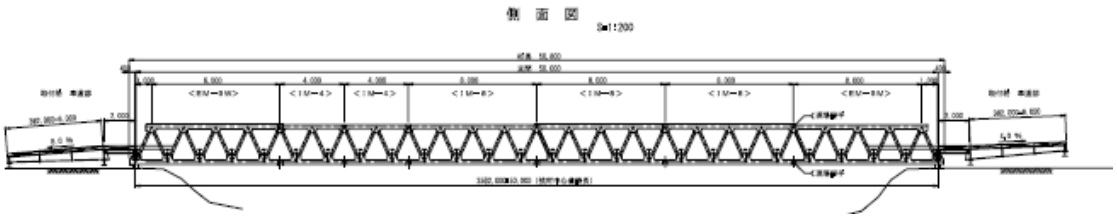


H28.8 大雨による出動〔足寄町〕

応急組立橋

国土交通省
北海道開発局

機械概要



災害等により橋梁が使用できなくなった場合に、早期に交通を確保することを目的に設置する仮橋です。
全ての部材をトレーラー等で運搬可能です。

■諸元
- 形式：組立式下路ワーレントラス橋
- 支間：５０m（最小１８m～最大５０mまで）
- 幅員：車道部 ７.５m　歩道部 １.５m

■特徴
架設現場の状況に応じて最小橋長１８mから最大５０mまで４m毎に橋の長さを変えることができます（全９通り）。

■全道配備台数 ： 5橋(R7.4月現在)

活動の様子

H28.8 一般国道273号 高原大橋架設状況〔上川町〕

H26.9 一般国道453号 奥漁川橋架設状況〔恵庭市〕